

2025年8月18日

飯田市議会議長

竹村 圭史 様



陳情者 交通弱者の問題を考える会

代表 丹治 正教

飯田市東中央通り5丁目70番地

エコサンハイツ東中央通り103

(090-2881-5955)

高齢者に対する タクシー代助成 と バス代低減 に 関する陳情書

日頃から私たちの活動に対してご理解・ご支援・ご協力いただき感謝申し上げます。

私たち「交通弱者の問題を考える会」は、特に高齢者などの移動手段の問題で日常的に困難を抱えている人たちの立場にたち、公共交通の改善を求めて活動している会です。これまで、公共交通に関するアンケートの実施、市長への要望書の提出、市との懇談会、橋北地区での市政懇談会での市長へのお願い、などをして来ました。

新しく議員になられた皆様全員には、私たちの取り組みのご支援・ご協力のお願いの文書(合わせてアンケートの結果や市との懇談をまとめたもの)を6月にお届け致しました。これからも、お世話になりますが何卒よろしくお願い申し上げます。

【陳情の趣旨】

さて、私たちが取り組んだアンケートでは、高齢になり免許証を返納した後の移動が特に心配、タクシーを利用するときの負担は大きい、バスや乗り合いタクシーの便が少なく時間も合わない、近くにスーパーや商店がなく買物ができない、通院ができない、バス停まで足が不自由で行けない、など切実な声が寄せられていました。

このアンケートを通して、私たちは公共交通の問題が高齢者や障害者にとって切実な問題であること、足の確保で日常の活動が出来ることはフレイル予防と結びついたり、高齢者の生き甲斐からも必要なことを改めて認識しました。

移動手段が無いということは、日常生活をおくるうえで不便というだけでなく、人と人との交流の機会が減り、閉じこもりや引きこもりに繋がり、高齢者にとっては認知症のリスクを高め、老後を楽しく豊かに生き甲斐を持って過ごす機会も奪うものです。

【陳情の理由】

市に対して、アンケートの中には、タクシーの助成をしてほしいという要望は多数ありました。

これは公共交通を利用できる人にとっても、それらの本数が少なかったり時間が合わないなどでタクシーを利用することがある、足が不自由だったり体調が悪いなどで公共交通機関を利用できない人にとってはよりいっそう通院や買い物にタクシーを利用することが多いことがあげられます。しかし、タクシーの利用にはたくさんのお金がかかります。また免許の返納で悩んでいる人にとって、タクシー代助成はその決断をうながすことにもなります。タクシー代の助成は多くの市民の要望であり、近隣の町村でも実施していることから、この実施を強く求めるものです。

また、バスの利便性を高め利用者数を増やすために、バス料金を一律１００円にしてください。どこに行くにも、どこまで行っても市内は１００円であれば、利用しやすく、高齢になっても元気に安心して生活できることに繋がります。例えば、今年秋に再開される予定の南信濃の「かぐらの湯」に行くにも７００円ですが１００円と安くなれば、気軽に観光や健康増進から利用する人も増えると思われます。

この要望が実現することが飯田市の発展につながると確信して、以下の陳情をします。

【陳情項目】

1、高齢者や免許返納者にタクシー料金を助成して下さい。

2、高齢者のバス料金を一律１００円にしてください。

以上